

ボール入ったね



わあ～はいった



どこに入れようかな

室内でボールを手に持ち歩く姿が見られていたので、穴の大きさが3種類のボール落としを用意した。

エピソード

A 児はボールを一つ手に取ると穴の中に入れた。下から出てきたボールをしゃがんで取り、穴に押し込むが、穴が小さくなかなか入らない。A 児は隣の穴にボールを入れるとボールはストンと落ちた。次に A 児は布のボールを見つけ、大きな穴に入れた後また手に取り、小さい穴に入れようとするが入らず、保育者が一緒にボールを持ち、ぐいっと押ししてみると入った。その感触が楽しかったのか、また布のボールをつかみ小さい穴にボールをぐいぐい押し入っていた。ボールが入るとそばにいる保育者の顔を見ている。その後も繰り返し入っていた。

保育者の思い

- ・子どもがボールを入れやすい高さにして、繰り返しボールを入れて遊べるようにする。
- ・ボールの感触を味わい十分に握ったり離したりする手指の操作を経験して欲しい。
- ・ボールを押すと穴に入る感触のおもしろさを感じてほしい。

子どもの育ちや学び 【幼児期において育みたい3つの資質能力】

知識及び技能の基礎

- ・穴に入れると下から出てくる楽しさを感じている。
- ・小さな穴に入らなくても違う穴には入ることを知る

思考力判断力表現力等の基礎

- ・小さな穴に入らない時、違う穴に入れようと判断して入れている。

学びに向かう力人間性等

- ・保育者が入らないボールを違う穴に入れるのを見たり、ボールが入らないことを保育者の顔を見て“はいらない”と表情で知らせたりする。